災害派遣職員レポート

№５　　Ｈ２３.５.２

４月３０日より神奈川県を通じて気仙沼に派遣した、えびな北高齢者施設　岡島昭子職員並びに中心荘鈴木ちゆき職員より、現地での活動場所は総合体育館になりましたが、そこでの活動について電話連絡がありましたのでご報告します。
二人ともとても元気に、そして献身的に介護にあたって下さっています。同じ法人で働く者として、大変うれしく思います。

岡島さんより　　５月１日
「昨日の朝７：３０に横浜を出発して、１６：００に現地に到着すぐに現場に入り、介護を始めました。
今晩の（５月１日）０：００～８：００の夜勤をすることになりました。
スタッフルームという小さな部屋があり、そこで横になって休みます。
食事は、支給されみなさんといただきました。
頑張って、被災地の方のために介護を提供します。」
と、とても元気な声で話してくれました。

鈴木さんより　　５月２日
「介護が必要な方は、避難されている方７５０名のうち１７名の方です。
トイレ誘導、移乗、薬の与薬、食事の配下膳などを行っています。
現在２名１組となって、４時間交代で介護にあたり、食事の時には全員で対応している。
今後、入浴介助（週１回のシャワー浴）も行うが、同性介護の希望があるので、それに合わせてメンバーで対応していく予定です。
避難所の方々への食事は、先週の土曜からやっと朝も配給されるようになったとのことで、それまでは１日２食だったそうです。そのような状況だったため、先行していた群馬県チームは食事は自分たちの持参品で賄い、配給は受けてなかったようですが、現派遣メンバーへの食事は配給されているとのことです。」
と、とても溌剌とした元気な声で話してくれました。

岡島さんより　　５月２日
「４時間毎の短い時間でシフトを組んで、介護してます。
要介護１～３程度の方のお世話で、トイレ誘導・介助を中心にお手伝いしています。
食事に関しては、配膳、見守り介助を行っています。食事介助は必要が無い状況です。
インシュリンの自己注射をしている方がいて、実施の見守りをしています。
ご利用者が微熱がある場合などは、医師・看護師がいるのですぐに診察してもらえる環境になっています。
入浴は、週に１回、土曜日が入浴日です。
※次に派遣されてくる三浦さんたちは、短パンを持ってきてくださいとメッセージでした。

夜は、寝袋で横になる程度で、ぐっすり眠ることはできないです。少々体が痛いですが、体は元気です。
体調も問題がありません。
食事も、自衛隊の炊き出しを一日２食いただいています。
派遣職員は、入浴はできません。ドライシャンプーで頭を拭いています。
※岡島さんは、覚悟して出かける前に髪の毛をばっさり切ってきました。

マスク・プラスチックグローブ・消毒薬品等はそろっているので、持参してきたもので十分に足りています。次のグループはたくさん持ってくる必要はありませんよ。」との連絡がありました。